

【著者紹介】

並河 啓后 (なみかわ けいご)

- 昭和45年 同志社大学大学院法学研究科修士課程修了 (法学修士)
- 昭和45年 憲法研究所 (代表・田畑忍) 研究員
- 昭和47年 同志社女子大学嘱託講師
- 昭和48年 京都府立大学非常勤講師
- 昭和52年 龍谷大学非常勤講師を経て
- 昭和60年 聖泉大学短期学部教授 (平成18年3月まで)
- 現在, 龍谷大学法学部非常勤講師, 大阪経済大学非常勤講師
並びに大阪経済法科大学非常勤講師 (就任予定)

主要著書

- 『佐々木憲法学の研究』(共著・昭和50年 法律文化社)
- 『日本国憲法論』(共著・昭和52年 法律文化社)
- 『日本憲法要論』(昭和59年 法律文化社)
- 『新版日本憲法要論』(平成3年 法律文化社)
- 『ゼミナール憲法判例〔増補版〕』(共著・平成6年 法律文化社)
- 『現代社会の法学・憲法〔第2版〕』(平成17年 法律文化社)

主要論文

- 「日本国憲法第9条解釈の検討」(同志社法学128号)
- 「国会両議院の国政調査権」(『議会制民主主義の研究』昭和53年所収)
- 「違憲審査権の性格」(同志社法学166号)
- 「表現の自由と知る権利」(『危機に立つ日本国憲法』昭和56年所収)
- 「違憲審査制の性格」(『違憲審査制の研究』平成5年所収) など。